

【水のふるさと】

福岡県 春日市立春日野中学校

三年

中野 花菜

みなさんは、自分が飲んでる飲料水の水がどこから来ているか知っていますか。私達は毎日水を飲んでます。しかし、その水がどこから来たのか考えながら飲む人はあまりいないでしょう。私も今まで水のふるさについて考えたことはありませんでした。

水のふるさと。私のおじいちゃんが住んでいる場所は穏やかな川や青く澄んだ海が広がっています。そんな水がいつもそばにあるところに住んでいるおじいちゃんが不思議なことを言っていました。

「僕達は雨を飲んでるのかな。たくさん雨を集めれば、飲めるのかな。」
雨水は確かに水。しかし、海や川の水がまわりにあるおじいちゃんがなぜそんな事を言ったのでしょうか。

飲み水のもとになっているのは、やはり雨だそうです。山にふり注いだ雨水は、ゆつくりと土の中にしみこんでいきます。やがて、水は山から流れ出し、川となります。川の水はダムに貯められ、浄水場で私達が飲むきれいな水ができます。私はいつも雨を飲んでると思うと面白いなと思いました。私達が飲んでいる雨はきれいにされているのですが。そう考えると、おじいちゃんが言っていたことの本当の意味がわかる気がします。

水のふるさについて調べるうちに水の循環のしくみにはメリット・デメリットがあると思いました。

まず、メリットは、ずっと循環しているので地球の水がなくなることです。水は私達の命を繋いでいます。また、使った水はきれいにされてまた使われるので新たに水を作るより遥かに効率がいいと思います。

逆にデメリットは、川の水をきれいにする施設がない地域では、きれいな水を飲むことができないことです。人は、水がないと生きていけないのに、その水を飲んで亡くなる人がたくさんいます。それは大変不幸なことです。

私達は、何をしないといけないのでしょうか。水のふるさとである山や、海、川を大事にしないといけないと思います。山や、海、川にゴミを捨てる人がいます。海に捨てられるプラスチックゴミの問題は聞いたことがあると思います。ひとり一人がゴミの問題に目を向けるだけで水はきれいになります。私達は、水を飲んで亡くなる人々を助けることはできないかもしれない。でも、水のふるさとである山や、海、川にゴミを捨てることはできません。飲み水のもとになっている雨が山に降り注ぎ、川を流れてきれいな水になる。おじいちゃんが住んでいる水のふるさと。そんな水のふるさとがたくさんあればいいなと思います。

水はずっと循環しています。だからこそ、きれいな水を飲めるように、山や、海、川を汚さないようにするなど、私達が少しでも意識することが大切だと思います。私達が飲んでいる水がこれからもずっと安心安全であるように、水のふるさとを守っていききたいです。